

平成17年度舟入高等学校SELHi研究開発中間報告会 研究授業指導案

教 諭 大 鴻 淳 二

1. 授 業 名 『総合英語』
2. 期 日 10月28日(金)
3. 時 間 4 限
4. 場 所 北棟3階 CALL教室
5. 対 象 1年 9組 21名(普通科・国際コミュニケーションコース)
6. 内 容 ビデオ教材やコンピュータソフトを使用した文法事項の学習・暗誦・表現活動
7. 教 材 『DUAL SCOPE English Grammar in 28 Stages』(数研出版)
8. 背 景

(1) 教材観

単調になりがちな文法の学習を、興味を持って学習できるようにビデオ教材やコンピュータソフトを使用して授業を展開している。

(2) 生徒観

1年終了時まで、1分間に80語で暗誦できることを目標としている。また、文法事項を学習していく中で、自分たちの考えが様々な場面で相手にうまく伝わるように、2学期より各単元の復習時にボイスオーバーなどを取り入れて学習している。

(3) 指導観

基本的な例文を暗誦だけにとどめず、いろいろな場面で運用できるように努めていく。

9. 学習指導計画

時	学習内容・学習活動
1	動名詞(Extra Lesson の続き)、分詞
2(本時) - 3	動名詞の復習、分詞 - 分詞構文
4	分詞構文の復習、完了形の分詞構文、慣用表現

10. 本時案

(1) ねらい

- ① 既習事項の動名詞を使用して様々な表現をできるようにする。
- ② 分詞や分詞構文の構造について理解させる。
- ③ はっきりと大きな声で発表できるようにする。

(2) 準備物

- ・ビデオソフト
- ・プリント

(3) 学習過程

流れ	時間	活動内容	指導(○)と評価(◎)の留意点
導入	5分	・コンピュータソフト「ELTAS」を使用して動名詞の慣用表現の復習	○「ELTAS」のQuick Responseを使用して、反射的に日本語を英語に直せるようにする。
展開	40分	・ビデオ教材を使用して、動名詞の復習を行う。 ・分詞、分詞構文の説明(プリント使用) ・コンピュータソフト「ELTAS」を使用して分詞構文の書き換えや暗誦の練習。	○ビデオ教材の一場面を使用して、各ペアに会話文を作らせる。その際、前時で履修した動名詞の構文や慣用表現を使用するように指示。その後、音声を消したスクリーン上の画面に合わせて、各ペアが発表する。(ボイスオーバー) ◎声の大きさ、文の適切さを評価
まとめ	5分	・暗誦(分詞構文)	◎声の大きさ、流暢さを評価